

資料館だより

No.49



Contents

1. 巻頭言 1
2. 新収蔵資料のご紹介
年間来館者数について 2
3. 展示のご紹介 3
【企画展】水と人の暮らし
【企画展】仙台の祭りと年中行事
【特別展】仙台・昔と今の暮らし 4

【季節展示】

4. 自主事業・連携事業のご紹介 4
5. 寄贈資料のご紹介 5
6. 年間行事のご紹介 6
7. 刊行物のご案内 7
8. 入館のご案内 8

巻頭言

市民の皆様の生涯学習を担う価値ある資料館を目指して

館長 西嶋 茂雄

当館は、明治7年(1874)9月、歩兵第4連隊兵舎として建造されました。昭和20年(1945)8月まで約70年間陸軍が使用していましたが、昭和54年(1979)資料館として開館いたしました。当館の指定管理業務内容は、(1)資料収集・整理・保管(2)展示(3)調査研究(4)普及啓発事業を基本事業としております。当館に収蔵されております資料の多くは、明治、大正、昭和期のものであり、現在、84,000点を超えるほどの資料が収蔵されております。入館者数は、「古き良き時代」を回想する社会的風潮の下、年々増加傾向にあ

りますが、さらに多くの市民の皆様のお役に立ちたいと心から願っております。

こうした貴重な資料の展示を通して、市民の皆様の生涯学習の一翼を担うことができればと、職員一同、日々鋭意努力しております。

今後とも、市民の皆様にとって学びがいのある価値ある資料館を目指して参りますので、これまで同様、変わらぬご支援ご教示を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

新収蔵資料のご紹介

虎屋横丁のトラ

この虎の置物は、一番町4丁目から国分町2丁目へと結ぶ「虎屋横丁」の名前の由来になったものといわれるものです。

江戸時代、この横丁に「虎屋」という薬店があり、その店先に虎の置物が飾られていたため「虎屋横丁」と呼ばれたといわれています。「虎屋」が廃業したのち、虎の置物は国分町の有力者の元に置かれました。明治天皇が明治9年(1876)に東北地方を巡幸された折には、この虎の置物も明治天皇のお目にかかり、天皇が虎の置物をなでられたといわれます。そのため虎の置物は「御撫之虎(おなでのトラ)」とも呼ばれるようになり、一躍話題を集めたそうです。

その後、この置物は行方不明となることもありました。が、大正12年(1923)に仙台市内に住んでいた戸部さんという方が購入され、長年自宅で保管されていました。しかし、東日本大震災で被害を受けた自宅が取り壊されることとなり、虎の置物は資料館へ寄贈されることになったのです。

現在は当館の1階ロビーで皆様のお目にかかる時を静かに待っています。

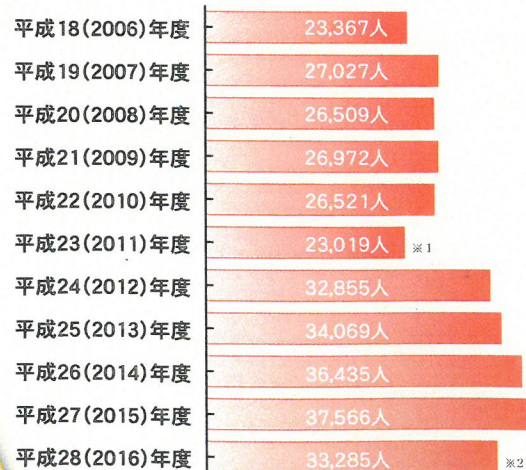


虎屋の虎(御撫之虎)
戸部恵美子氏寄贈

年間来館者数 5年連続3万人達成！

当館は平成24(2012)年度に年間来館者が3万人の大台を超えて以来、5年連続で入館者数の記録を更新してきました。今年も3月15日現在で3万3000人を超えるお客様に来ていただいています。

建物ののべ床面積は1,271㎡(うち展示室・体験学習室は442㎡)なので、決して広い施設ではありませんが、ご来館の皆様にご満足いただけるよう展示内容の充実に努めてまいります。



※1 2011(平成23)年度の4月1日～7月8日(119日間)は震災被害により休館。

※2 2016(平成28)年度の来館者数は3月15日現在。

平成18年(2006)以来の 来館者数の推移

企画展

水と人のくらし

会期:平成28年(2016)
4月29日(金・祝)～6月19日(日)

この企画展では、水にまつわる台所用具のほか井戸や水くみの道具とその使い方、生活用水や農業用水などの工夫について民俗資料をととしてご紹介しました。展示資料数、約70点。

関連行事

- 学芸員による展示解説 4月29日(金・祝)
- 講座「川と人々のくらし」 5月14日(土)
講師:西大立目祥子氏(フリーライター)
- 講座「街中の四ツ谷用水を歩く」 5月21日(土)
講師:仙台・水の文化史研究会のみなさん
- 講座「七郷堀を歩く」 6月4日(土)
講師:西大立目祥子氏(フリーライター)
- 講座「広瀬川を歩く」 6月11日(土)
講師:西大立目祥子氏(フリーライター)



企画展

仙台の祭りと年中行事

会期:平成28年(2016)
7月2日(土)～11月6日(日)

この企画展では、正月と七夕・盆などの祭りと年中行事や、神像、御札(おふだ)、竈神(かまがみ)など家で祀(まつ)る神々、また山・鉾(ほこ)・屋台などをもなう都市の祭礼と芸能、さらには農耕儀礼における魔除(まよ)け、託宣(たくせん)の行事など、さまざまな仙台地方の祭りと年中行事の移り変わりについて、地域の人々の祈りと暮らしの視点からご紹介しました。展示資料数、約130点。

関連行事

- 学芸員による展示解説 7月3日(日)、7月10日(日)
 - 講座「仙台の祭りと年中行事の移り変わり」 7月2日(土)
 - 講座「誰が藩祖伊達政宗を祀るのか」 7月9日(土)
 - 講座「仙台の正月と七夕・盆行事」 7月16日(土)
 - 講座「近代仙台の渡物(山鉾)の変遷～東照宮祭礼から仙台・青葉まつりまで～」
9月10日(土)
 - 講座「仙台の祭りと芸能～田植踊を中心に～」 9月17日(土)
 - 講座「仙台の正月飾りと切り紙～おかざり・きりこ・きざみもの～」 11月6日(日)
- ※講師はいずれも当館学芸員



季節展示

例年、四季の折々に行われた年中行事を「季節展示」として、館内でご紹介しています。

平成28年度には以下のタイトル・日程で実施しました。

- 花見 平成28年(2016)4月9日(土)～5月8日(日)
- 七夕と盆 平成28年(2016)7月9日(土)～8月28日(日)
- 仙台の正月 平成29年(2017)1月5日(木)～1月31日(火)
- ひな祭り 平成29年(2017)2月25日(土)～4月2日(日)

仙台の門松(復元展示)



展示のご紹介

特別展

仙台・昔と今の暮らし

会期：平成28年(2016)11月19日(土)～

平成29年(2017)4月16日(日)

かつては薪(たきぎ)や炭を燃やして料理をし、井戸で水をくみ、手で洗濯(せんたく)することはごく普通のことでした。しかし、この数十年で暮らしの姿を変える様々な道具が登場し、人々の生活は急速に変わっていきました。特別展では「昔の暮らし」をささえたさまざまな道具をご紹介します。「今の暮らし」を考えるきっかけを作りました。展示資料数、約200点。

関連行事

- 学芸員による展示解説 11月19日(日)、12月17日(土)、
3月26日(日)、4月16日(日)
- 講座「昔の日常の食事について」 12月25日(日)、1月28日(土)
講師：当館学芸員
- 講座「昔の冬の過ごし方について」 1月8日(日)、2月5日(日)
講師：当館学芸員
- 講座「亜炭のお話」 3月5日(日)
講師：薄井真矢氏(せんだいメディアテーク学芸員)



特別展の展示風景

3畳の畳コーナーをつくり、火鉢やちゃぶ台、ぜんまい式の掛け時計などを展示しました。



自主事業、連携事業のご紹介

当館では指定管理業務以外に自主事業や連携事業としてさまざまなイベントを実施しています。今年度で開催した、それらのイベントのなかからいくつかをご紹介します。

れきみん秋祭り2016

～あっぱれ！東北を彩る技と芸能～ 10月22日(土)・11月3日(木・祝)

この東北の地には、古くからの暮らしに根づいた伝統の技があり、また受け継がれてきた芸能は人々の心のよりどころとなってきました。それらの技と芸能を一度に集めてご紹介する「れきみん秋祭り」は、今年も2日間にわたり行われました。天候にも恵まれ10月22日はのべ3,934名、11月3日はのべ1,372名が来場されました。

「猿舞座の猿回し」 6月12日(日)

伝統の「本仕込み」で魅せる周防の猿回し「猿舞座」の上演。午前、午後の2回公演で、のべ521名が観覧されました。

第9回ホームムービーの日 10月15日(土)

なつかしい仙台的町並みと何気ない生活の一コマをご紹介します上映会。10作品を上映。のべ62名が参加されました。

朗読公演「語り継ぐ、あの日の記憶vol.2」 2月19日(日)

館内の「農家の台所」コーナーを特設会場に東日本大震災による津波災害の体験記を朗読。のべ31人が観覧されました。



寄贈資料の ご紹介

■ 平成 27 年度寄贈資料 (前号編集後の受入資料)

資 料 名	点 数
編み機	1
旧伊達邸 (南小泉) 写真	1
東北今昔かるた	1
SP レコード	71
平成 27 年度寄贈資料 総数 (60 件)	1890 点

■ 平成 28 年度寄贈資料

資 料 名	点 数
戦前の地図	2
『少年倶楽部』ほか	13
『全電通労働運動史』ほか	94
熊耳耕年「芭蕉の辻」額ほか	2
一銭硬貨 (3 種)	3
磁石式壁掛け電話機ほか	25
東日本大震災関連医療機関配布文書一式	1
昭和 30 年代の 8 ミリフィルムほか	35
七五三のお宮参り衣装の下駄ほか	5
「支那事変従軍記章」ほか	27
井戸滑車	2
仙台簞笥ほか	3
コビキノコほか	22
「勲 2 等瑞宝章」	1
教科書・雑誌など	377
「教育勅語」額装ほか	2
「大日本交通全図」ほか	132
出征時の日の丸寄せ書きほか	2
「御撫之虎」ほか	2
仕事着	8
婚礼用の紙入れ	1
凧	14
編器ほか	132
コードレス電話機ほか	2
『一女高の百年』ほか	2

資 料 名	点 数
長谷訥造家関係資料 (書簡・写真)	200
千人針ほか	64
警察犬などの訓練風景写真ほか	55
満洲事変関係写真	49
『仙台藩戊辰殉難小史』ほか	5
子ども用木馬	1
仙台幼年学校日記ほか	190
火打ち箱ほか	14
セルロイドのミルクのみ人形ほか	9
小学校学習ノートほか	17
昭和初期の原町尋常小学校卒業写真ほか	201
モンペ・ハンテンほか	6
DVD「動画で振り返る二十人町と鉄砲町」	1
風呂敷 (祝仙台港開港) ほか	2
あんこ用ヘラほか	111
昭和 28 年母子手帳ほか	3
入営祝熨斗袋ほか	4
昭和 19 年蛇の目ミシン使用法	1
SONY ウォークマン (初代) ほか	11
大正元年仙台市全図	1
平成 28 年度寄贈資料総数 (45 件) ※3月15日現在	1854 点



セルロイド製のミルクのみ人形

今年度寄贈された資料の一つ。着せ替え用の服は所蔵者のお母さんが子どものためにと手作りしてくれたもの。写真のほかにも着せ替え用の服やさまざまな小物などもあわせて寄贈いただきました。

平成28年度(2016年度)

年間行事のご紹介(会期・期日順)

行事	行事名称	会期・期日
展示	季節展示「花見」	2016/4/9(土)～2016/5/8(日)
特別展関連	展示解説「仙台のまちと近代交通」	2016/4/17(日)
展示	企画展「水と人の暮らし」	2016/4/29(金・祝)～2016/6/19(日)
企画展関連	展示解説	2016/4/29(金・祝)
体験学習	ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん 第1部	2016/4/29(金・祝)～2016/4/30(土) 2016/5/1(日)
体験学習	ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん 第2部	2016/5/3(火・祝)～2016/5/5(木・祝)
体験学習	ゴールデンウィークおもしろ昔たいけん 第3部	2016/5/7(土)～2016/5/8(日)
企画展関連	講座「川と人々の暮らし」	2016/5/14(土)
企画展関連	講座「街中の四ツ谷用水を歩く」	2016/5/21(土)
企画展関連	講座「七郷堀を歩く」	2016/6/4(土)
企画展関連	講座「広瀬川を歩く」	2016/6/11(土)
自主事業	伝統芸能実演「猿舞座のさるまわし」	2016/6/12(日)
展示	企画展「仙台の祭り」と年中行事	2016/7/2(土)～2016/11/6(日)
企画展関連	講座「仙台の祭り」と年中行事の移り変わり	2016/7/2(土)
企画展関連	展示解説	2016/7/3(日)
展示	季節展示「七夕と盆」	2016/7/9(土)～2016/8/28(日)
企画展関連	講座「誰が藩祖伊達政宗を祀るのか」	2016/7/9(土)
企画展関連	展示解説	2016/7/10(日)
企画展関連	講座「仙台の正月と七夕・盆行事」	2016/7/16(土)
子ども講座	紙芝居「青い目の人形ものがたり」	2016/7/22(金)
体験学習	夏休みクイズラリー	2016/7/23(土)～2016/8/28(日)
資料館サポーター養成講座	第1回「資料館の魅力について～展示・収集・調査研究・教育普及～」	2016/7/23(土)
子ども講座	紙芝居「ぼくたちの学童集団疎開」・「願いを七夕にー仙台空襲物語ー」	2016/7/29(金)
体験学習	たんけん資料館(れきみんバックヤードツアー)①	2016/7/30(土)
自主事業	朗読公演「つつみのおひなこ・仙台空襲物語」	2016/8/6(土)
体験学習	たんけん資料館(れきみんバックヤードツアー)②	2016/8/13(土)
企画展関連	講座「近代仙台の渡物(山鉾)の変遷～東照宮祭礼から仙台・青葉まつりまで～」	2016/9/10(土)
企画展関連	講座「仙台の祭り」と芸能～田植踊を中心に～」	2016/9/17(土)
体験学習	たんけん資料館(れきみんバックヤードツアー)③	2016/10/10(月・祝)
連携事業	第9回ホームムービーの日「なつかし仙台8ミリフィルム上映会」	2016/10/15(土)
自主事業	れきみん秋祭り 2016 (伝統芸能ほか)	2016/10/22(土)
自主事業	れきみん秋祭り 2016 (伝統工芸職人ほか)	2016/11/3(木・祝)
企画展関連	講座「仙台の正月飾りと切り紙～おかざり・きりこ・きざみもの～」	2016/11/6(日)
展示	特別展「仙台・昔と今の暮らし」	2016/11/19(土)～2017/4/16(日)
特別展関連	展示解説	2016/11/19(土)
特別展関連	展示解説	2016/12/17(土)
体験学習	冬休みクイズラリー	2016/12/23(金・祝)～2017/1/9(月・祝)
特別展関連	講座「昔の日常の食事について」	2016/12/25(日)
展示	季節展示「仙台の正月」	2017/1/5(木)～2017/1/31(火)
特別展関連	講座「昔の冬の過ごし方について」	2017/1/8(日)
特別展関連	講座「昔の日常の食事について」	2017/1/28(土)
特別展関連	講座「昔の冬の過ごし方について」	2017/2/5(日)
体験学習	たんけん資料館(れきみんバックヤードツアー)④	2017/2/12(日)
自主事業	朗読公演「語りつぐ、あの日の記憶 Vol.2」	2017/2/19(日)
展示	季節展示「ひな祭り」	2017/2/25(水)～2017/4/2(日)
展示	被災地関連展示「六郷・七郷・高砂と周辺地域の人々の暮らし」	2017/3/1(水)～2017/3/31(金)
特別展関連	講座「亜炭のお話し」	2017/3/5(日)
子ども講座	紙芝居「日本の昔話」	2017/3/18(土)
特別展関連	展示解説	2017/3/26(日)
特別展関連	展示解説	2017/4/16(日)

※企画展、特別展、季節展示、体験学習と子ども講座、自主事業ごとに同系色で色分けしています。

※休＝祝日および国民の休日



刊行物のご案内

当館では次の刊行物を販売しています。売切れとなった刊行物については掲載していません。また、現在のところ、再版の予定はありません。販売については郵送も可能です。詳しくはHPをご覧ください、電話等でお問い合わせください。

● 調査報告書 ●

第7集	御譜代町の生業―職人と商人(上)	2,000円
第8集	御譜代町の生業―職人と商人(下)	2,000円
第10集	川前鹿踊剣舞の伝書ほか	600円
第11集	足元からみる民俗	700円
第12集	足元からみる民俗(2)	600円
第14集	足元からみる民俗(4)	850円
第15集	足元からみる民俗(5)	850円
第22集	足元からみる民俗(12)	1,200円
第23集	足元からみる民俗(13)	700円
第24集	足元からみる民俗(14)	500円
第25集	足元からみる民俗(15)	500円
第26集	足元からみる民俗(16)	500円
第28集	足元からみる民俗(18)	500円
第29集	足元からみる民俗(19)	600円
第30集	足元からみる民俗(20)	600円
第32集	足元からみる民俗(22)	600円
第33集	足元からみる民俗(23)	600円
第34集	足元からみる民俗(24)	700円
第35集	足元からみる民俗(25)	600円



調査報告書第35集
研究報告2本、調査報告1本、
資料紹介1本を集録。
今回も読みごたえのある
報告書です。
当館窓口でのみ販売。

● 収蔵資料目録 ●

収蔵資料目録(2)	1,000円
収蔵資料目録(3)	1,200円

● 図 録 ●

広瀬川流域の民俗 中間報告Ⅱ	300円
広瀬川流域の民俗	500円
宮城町のくらし	300円
礎の人々―仙台地方の農具と農家の暮らし―	500円
竹とくらし	450円
くらしの中のあかり	500円
教科書でたどる学都仙台	1,000円
昔と今の暮らしをくらべてみよう―暮らしのしくみ研究所―	200円
虫と人のくらし	500円
織機(はたし)と織布(ぬの)	500円
はきものの民俗	1,000円
スポーツ・せんだい―身体と民俗―	300円
藁の民俗	600円
あきないの民俗 ～看板・引札・ちらし～	1,000円
木とくらしどころ	800円
なつかし仙台2―いつか見た街・人・暮らし―	1,500円
ガイドブック 仙台の戦争遺跡	300円
せんだい職人づくし	1,000円
なつかし仙台3―いつか見た街・人・暮らし―	1,000円
戦争と庶民のくらし4	600円
学都仙台と杜の都～仙台文化を訪ねて～	700円
仙台の祭りと年中行事	800円
仙台・昔と今のくらし	700円



図録
「仙台の祭り 年中行事」
仙台地方で見られる行事と
祭礼に関わる資料を
集録しています。
1部800円。
当館窓口で販売中。

● 資料集 ●

資料集 第1冊	700円
資料集 第2冊	1,000円
資料集 第3冊	800円
資料集 第4冊	800円
資料集 第7冊【収蔵資料目録(4)】	300円
資料集 第8冊【収蔵資料目録(5)】	400円
資料集 第9冊	800円
資料集 第10冊	600円
資料集 第11冊【収蔵資料目録(6)】	400円
資料集 第12冊【収蔵資料目録(7)】	700円
資料集 第13冊「絵葉書で見る仙台(2)」	500円
資料集 第14冊「大正14年 仙台市写真帖」	700円
資料集 第15冊「明治23年 新版仙台みやげ」	700円



資料集 第15冊
「明治23年 新版仙台みやげ」
東北線開通直後に発行された
観光案内書で、当時の名所のほか
旅館、商店、温泉場なども紹介。
1部700円で当館窓口で販売中。

● その他 ●

民具ポスター	100円
お神楽ガイドブック	200円
明治13年 宮城県仙台区全図(復刻版)	500円
明治22年 仙台市地図(復刻版)	200円
大正15年 地番入仙臺市全図(復刻版)	500円
昭和4年大日本職業別名細図(仙台市)(復刻版)	500円
昭和8年大日本職業別名細図(仙台市)(復刻版)	500円
昭和16年 仙台市全図(復刻版)	500円
昭和22年復興新仙台地図(復刻版)	500円
昭和27年番地入最新仙台市街明細地図(復刻版)	500円

自主制作ビデオの閲覧・貸出について

当館では、以下のビデオ作品を制作しました。館内でご覧いただけるほか、一部のビデオは市内の図書館で閲覧あるいは貸出が可能です。

- 「桶作り—高橋長三郎さんの技術—」
- 「竹細工—升澤孝雄さんの技術—」
- 「火と語り鉄の心を知る—千葉久さんの積年の技量—」
- 「引きついでいく私たちの歴史—仙台市歴史民俗資料館の仕事—」
- 「窯の火は消えたけれど—堤町と焼物—」
- 「仙台浜の漁業」
- 「仙台の木綿染—染師の町を訪ねて—」
- 「仙台の祭礼」
- 「仙台の金網と曲輪」
- 「仙台の筆と硯」
- 「仙台の柳生和紙と達磨」
- 「仙台の刃物鍛冶」
- 「埋木細工—受け継がれてきた技術—」
- 「仙台竿—田村政孝の技—」
- 「仙台箆簞」

入館のご案内

- 開館時間…午前9時～午後4時45分
(入館は午後4時15分まで)
- 入館料…一般・大学生240円(190円)
高校生180円(140円)
小・中学生120円(90円)
※()は30名以上の団体割引
- 休館日…毎週月曜日(休日の場合は翌日)、休日の翌日(土・日曜日と休日を除く)、毎月第4木曜日(休日の場合と12月を除く)、くん蒸期間、年末年始(12月28日～1月4日)

交通機関のご利用について

- JR利用の場合…仙石線「^{つつじがおか}榴ヶ岡駅」下車約5分
- 徒歩の場合…仙台駅東口から約25分
- バス利用の場合…仙台駅西口青葉通、三井住友信託銀行前付近の50番、51番乗り場から「^{はらのまち}原町一丁目」下車徒歩約7分。
- 自家用車の場合…榴岡公園駐車場(有料、50台)をご利用下さい。



資料館だより No.49

発行日 平成29年(2017)3月31日発行

発行 仙台市教育委員会

〒980-0011 仙台市青葉区上杉1丁目5-12

編集

公益財団法人 仙台市民文化事業団

仙台市歴史民俗資料館

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪1丁目3-7

TEL (022) 295-3956 FAX (022) 257-6401

E-mail: folkmuse@deluxe.ocn.ne.jp

http://www.sendai-c.ed.jp/~bunkazai/~rekimin/